

冷凍ストッカー（前開き）：108L 取扱説明書



冷凍庫・製氷機・冷凍/冷蔵ストッカーレンタル専門店



〒379-2166

群馬県前橋市野中町369-2

TEL：027-289-6080

FAX：027-289-6166

緊急連絡先：080-5643-7181

冷凍庫・製氷機・冷凍/冷蔵ストッカー専門店ホームページへ
アクセスする場合はこちらのQRコードを読み込んでください。



目次

メーカー取扱説明書

返却時の梱包手順

梱包時 PP バンドの使用方法

故障に関する注意点

【注意点 1】

こちらの商品は、運送中に横積みされた可能性があります。商品を設置してから 2 時間以上経過した後にコンセントをさしてください。

2 時間以内にコンセントをいれるとコンプレッサーが故障します。

【注意点 2】

電源を入れた後に、電源プラグを抜いて再び差し込む時には抜いてから 10 分以上、間をおいてください。すぐに差し込むとコンプレッサーに負担がかかり故障の原因となります。

「**ダイヤル 7**」も同様です。



レマコム株式会社
冷凍ストッカー前開きタイプ
取扱説明書



●RRS-T82

●RRS-T108

●RRS-T138

レマコム株式会社

住所：静岡県三島市松本 68-1 TEL：055-984-3600 FAX：055-984-3601

URL： <http://www.remacom.com> e-mail： info@remacom.com

このたびは弊社の製品をお買い上げ頂きありがとうございます。正しく機器をご利用いただくために取扱説明書をよくお読みくださいますようお願い致します。

お読みになった後、「保証内容書」とともに大切に保管してください。

商品を開梱し設置後6時間は電源を入れないでください。故障する恐れがあります。設置後6時間たらずに電源を入れて故障した場合、ガス詰まりによる故障の可能性が高くなります。この場合は、保証対象外となり、有償修理となります。ご注意ください。

もくじ

1. 製品概要.....	1
2. 安全の為のご注意.....	2
3. 移動と設置についてのご注意.....	3
4. ご使用上のご注意.....	4
5. コントロールパネルと温度調整について.....	5
6. 快適にご使用いただくために.....	6
7. お手入れとメンテナンス.....	6
8. 故障かなと思ったら.....	7
9. 主な仕様.....	8
10. 製品に関するお問合せ.....	8

1、製品概要

本製品は冷媒としてノンフロン[®]の R600a を使用し、優れたデザインと自然冷気対流方式を使用した前開きタイプの冷凍ストッカーです。

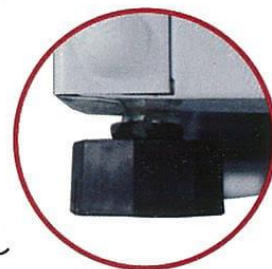
2、安全の為のご注意



- ① 冷凍ストッカーは、100V の単独コンセントに挿してください。他の器具と分岐してのご利用（たこ足配線等）はおやめください。延長コードを使用した場合は、コードが異常発熱をして発火の原因となる場合や、電圧降下が発生しコンプレッサーが正常に起動しない場合があります。
- ② 冷凍ストッカーは、アースをつけてご使用ください。
- ③ 使用中、もしも電源プラグの端子の間にほこりがたまっていたら、よく拭いてほこりを取り除いてください。ほこりがたまっただまま使用を続けた場合、火災の原因となる場合がございますので、御注意ください。
- ④ 冷凍ストッカーに水をかけないでください。漏電や冷凍ストッカーの故障を引き起こします。
- ⑤ アルコール、ガソリン、シンナー等のような可燃性物質を冷凍ストッカーの中には入れないでください。
- ⑥ 爆発や火災などになりますので、可燃性揮発性物質は入れないでください。
- ⑦ 電源コードに破損、過度の曲がり、歪み等がある場合は使用しないでください。電源コードを束ねたまま使用しないでください。また、重いものを電源コードの上に置かないでください。感電や火災の原因になる恐れがあります。
- ⑧ 本製品は屋内専用です。雨にさらされる場所での使用はおやめください。屋内であっても高温多湿の場所ではご使用になれません。このような場所で使用すると、漏電や感電の原因になります。
- ⑨ 重いものや水を含んでいるものを本製品の上に置かないでください。落下してけがをする恐れや、こぼれた水が漏電、または電気部品を劣化させる可能性があります。
- ⑩ 冷凍ストッカーの冷媒ガスの漏れに気がついた場合は、冷凍ストッカーやコンセントには手を触れず、換気のために扉や窓を開けてください。冷凍ストッカーの近くで火をつけていた場合は、すぐに火を消してください。冷媒ガスは引火すると爆発、火災、やけどの原因になります。
- ⑪ 濡れた手で、電源コードや電源プラグ、また他の電気部品に触れないでください。感電の原因になります。
- ⑫ 電源コードや電源プラグが破損した場合や、電源プラグがしっかり挿し込まれていない場合は、感電、短絡、火災の原因になります。その場合には、電源コードや電源プラグを交換してください。
- ⑬ 電源プラグの本体を持って、コンセントから電源プラグを抜いてください。電源コードを引っ張ると断線して過熱または火災の原因になります。
- ⑭ 製品の処分をする場合は、産業廃棄物処理業者へ依頼する等、適切に処分してください。

3、移動と設置についてのご注意

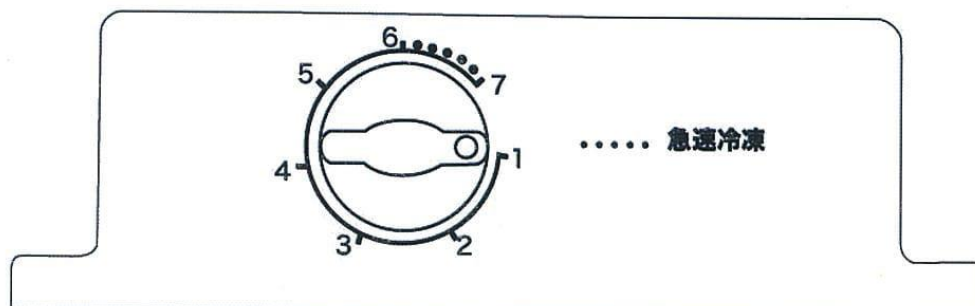
- ① 冷凍ストッカーを移動させる場合には、本体を床面から 45° 以上に傾けたり、横にしないでください。
- ② 扉や電源コードを引っ張って移動させないでください。故障の原因になります。
- ③ 冷凍ストッカーの設置・ご使用の際は、ダンボール、発泡スチロールなど、すべての梱包資材を取り外してください。
- ④ 冷凍ストッカーは、十分に強度がある平坦な場所へ水平に設置してください。床面が丈夫でない、または斜めに設置した場合は、振動や異音を発生する可能性があります。
本体前側の下側左右にアジャスター（調整足）がついています。
時計回しで高く、反時計回しで低く調整できますので水平に設置してください。
- ⑤ 冷凍ストッカーを設置する場合、排熱のために、本製品の周囲 10 cm 以上は空けて設置してください。特に機械部通風孔や通風孔の周りは、十分余裕をもって空けてください。各通風孔の周りがふさがれていると、コンプレッサーに負担がかかり、故障の原因となります。この場合は保証対象外となり、有償修理となります。ご注意ください。
- ⑥ 冷凍ストッカーの能力を十分に発揮させるために、熱源が近いところに設置しないでください。
- ⑦ 直射日光のあたるところに、冷凍ストッカーを設置しないでください。冷えないばかりか、機械の故障や変色の原因となります。



4、ご使用上のご注意

- ① 設置後 6 時間は電源を入れないでください。故障する恐れがあります。設置後 6 時間たらずに電源を入れて故障した場合、ガス詰まりによる故障の可能性が高くなります。この場合は、保証対象外となり、有償修理となります。
- ② 温度調整ダイヤル「7（急速冷凍）」にした場合は、1 時間経過後には標準の「3～4（中）」に戻してください。
「7（急速冷凍）」で長時間運転を継続した場合は、コンプレッサーに負担がかかり、故障の原因となります。この場合は保証対象外となり、有償修理となります。
- ③ 冷凍ストッカーに食品や食材を入れる場合は、庫内が十分に冷えてから入れてください。
- ④ 冷凍ストッカーに、直接熱い食品や食材を入れると、故障の原因になります。必ず、冷凍された食品や食材を入れてください。また、食品や食材間は、少し隙間があるように余裕をもって入れてください。詰め過ぎると冷却能力が低下します。
- ⑤ 本製品は、冷凍食品や冷凍食材以外のものを入れることを想定しておりません。これら以外のものを入れることはおやめください。
- ⑥ 本製品は、食品や食材を保管する製品です。薬品など厳密な温度管理を必要とする物品の冷凍には向きません。
- ⑦ 本製品は、冷凍ストッカーです。構造上、外気温の影響を受けやすいため、扉を開けている時間を短くし、庫内の温度を保つために、扉の開け閉めの回数を、できるだけ減らしてください。
- ⑧ 一度抜いた電源プラグを再び差し込む時には、抜いた後に 5 分以上経ってから差し直してください。
- ⑨ 本製品は、冷媒にノンフロン R600a を使用しておりますので、フロン回収・破壊法の第 1 種特定製品には該当いたしません。
- ⑩ 製品の故障、電源ケーブルの破損、部品交換等修理に関することについては、レマコム株式会社へご連絡ください。

5、コントロールパネルと温度調整について



① 温度調整範囲は下記の通りです。

- 1) 1～2／弱
- 2) 3～4／中
- 3) 5～6／強
- 4) 7／急速冷凍

一般的な動作には「3～4（中）」が最も適しています。

温度調整ダイヤルが「5～6（強）」に近いほど冷凍ストッカーの冷却能力が強くなります

② 温度調整ダイヤル「7（急速冷凍）」にした場合は、1時間経過後には「3～4（中）」に戻してください。「7（急速冷凍）」で長時間運転を継続した場合は、コンプレッサーに負担がかかり、故障の原因となります。この場合は保証対象外となり、有償修理となります。ご注意ください。

6、快適にご使用いただくために

1 食品や食材を入れすぎないでください

あまり多くの食品や食材を冷凍ストッカーの中に入れすぎないでください。
入れすぎますと冷却不良を起こします。

2 霜取りについて

冷却能力の低下を避けるため、庫内の霜の厚さが5mm以上になる前に霜を取り除いてください。

① 庫内に収納してある食品や食材を取り出し、別の冷凍庫に保管した後で冷凍ストッカーの電源を抜いてください。

② 冷凍ストッカーの最下段の床面に融けた霜を吸水する為の布やスポンジ等を置きます。冷凍ストッカーの扉を開放し、おおよそ5～6時間そのまま放置してください。

※霜を取る為に鋭利なものや硬いものは、絶対に使用しないでください。
冷却装置にキズをつけたり、故障の原因になります。

③ 霜が融けたら、庫内の床面に溜まった水を吸いにとって庫外に出してください。
その後、乾いた布で棚・壁面をきれいに拭いてください。
冷凍ストッカーの電源を接続して庫内の温度が-18℃以下になるまで待ちます。
-18℃以下になりましたら食品や食材を冷凍ストッカーに戻してください。

7、お手入れとメンテナンス

本製品をより長くご利用いただくために、日頃のお手入れとメンテナンスを行ってください。お手入れ、メンテナンスの前には、必ず電源プラグを抜いてください。
製品外観や庫内の清掃は中性洗剤に浸したやわらかい布で拭きます。その後、乾燥したやわらかい布できれいに拭いてください。また、決して本体に水を直接かけないでください。

塗装やプラスチック部品に損傷を与える恐れがありますので酸性・アルカリ性の洗剤、石鹼、シンナー等を用いて拭いたり、アセトンやブラシなどを使って磨いたりしないでください。

感電やショートを防ぐため、壊れた電源プラグや電源ケーブルのままでのご使用はおやめください。

本製品を長期間使わない場合は、すべての食品や食材を取り出し、外観、庫内をきれいに掃除後、十分に乾燥するまで扉を開けてください。その後、電源プラグを抜いて直射日光のあたらない場所で保管してください。

8、故障かなと思ったら

こんなときは	確認してください
冷えない	●電源プラグは確実に挿されていますか？ ●停電はしていませんか？ ●延長ケーブルを使っていませんか？ ●建物のブレーカーは落ちていませんか？ ●電源のたこ足配線をしておりませんか？ ●本製品の周囲は、10cm 以上隙間が空いておりますか？
十分に冷えない	●引出し一杯に食品や食材が入っていませんか？ ●温度調整ダイヤルを確認してください。 ●直射日光にあたっていませんか？ ●近くに熱源がありませんか？ ●外気温が高くありませんか？ ●扉が長時間開けっ放しになっていませんか？
コンプレッサーの動作が止まらない	●温度調整ダイヤルが「7」（急速冷凍）になっていませんか？ ●扉を頻繁に開けておりませんか？ ●その他上記の「十分に冷えない」項も参照ください。
本体の表面が熱い	●直射日光にあたっていませんか？ ●本製品は冷却時に発生する熱を外側に逃がしています。設置直後や夏場は長く手を触れていられない位の温度になる事もありますが、異常ではありません。
気になる音がする	●本製品内のコンプレッサーの運転が始まると水の流れるような音がします。これは正常な現象であり、冷媒が冷却回路を循環している音です。 ●本製品が斜めに設置されていませんか？ ●本製品が壁に近いことはありませんか？ ●本製品が他の物に接していませんか？ ●本製品の部品がどこか壊れていませんか？
もし上記の内容で問題が解決しない場合、レマコム株式会社にご連絡ください。	

9、主な仕様

冷凍ストッカー（前開きドアタイプ）

型 番	RRS-T82	RRS-T108	RRS-T138
定格電圧 (V)		100V	
定格周波数 (Hz)		50/60 Hz	
定格消費電力 (W)	85/85	85/85 W	85/85
冷媒の種類 ／封入量 (g)	R600a / 40g	R600a / 43 g	R600a / 47 g
庫内温度範囲 (°C)		-15~-25°C	
重量 (kg)	40 kg	40 kg	44 kg
総容量 (L)		108 L	138 L
外形寸法 (mm) 幅×奥行×高さ	519x600x830	519x600x1040	519x600x1225
引出し	3 個	4 個	5 個
付属品	霜取りヘラ×1 個	霜取りヘラ×1 個	霜取りヘラ×1 個
フロン回収・破壊法	対象外（第1種特定製品ではありません。）		

※ご注意

本記載仕様は、製品の継続的な改良の為に、予告無く変更を行う場合があります。 個々の製品仕様は、本体の電気回路と製品銘板を参照願います。

※フロン回収・破壊法該当品について

本品は、フロン回収・破壊法の第1種特定製品には非該当です。

※廃棄処分する際の御注意

本製品は「業務用 冷凍ストッカー」です。従って、家電リサイクル法には該当いたしません。産業廃棄物処理業者へ依頼する等、適切に処分ください。

廃棄処分する場合は、適切に
処分をおこなってください。

10、製品に関するお問い合わせ

製品に関するお問合せ、製品の修理・メンテナンスに関するお問合せは、下記にご連絡をお願いいたします。

〒411-0822 静岡県三島市松本68-1

レマコム株式会社

電話：055-984-3600 FAX：055-984-3601

保証内容書

このたびは、レマコムの商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
お買い上げいただきました製品につきまして、本保証内容により保証させていただきます。

1.保証番号について

各製品には、製品独自の保証番号がついています。例：FRS1234567、12HB7345-678、1234XD1-12等
製品発送のお知らせと共に保証番号をあわせてお知らせいたしております。
機械本体の製造番号が保証番号となっておりますので、製品の銘板でご確認いただくこともできます。

2.保証期間について(納品日より保証期間1年間)

保証開始日、保証終了日を知るには、保証番号を当社へお伝えください。保証期間をお伝えいたします。

3.保証の内容

正常な使用状態で、保証期間中に故障した場合には、製品の無料修理または交換をさせていただきます。
修理の場合は、製品をレマコム株式会社への持ち込み修理といたします。
修理、交換のいずれの保証方法をとるかについては、レマコム株式会社の判断とします。

4.保証の範囲

保証は機器本体を対象とします。付属部品やコンタクトなどの消耗品や機械本体以外に生じた損害及び
機器の搬入・取り付け・取り外し・搬出・梱包にかかる費用等は、保証の対象ではありません。

5.つぎのような場合には、保証期間内でも有料修理になります。

- ① ご使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
- ② 納品後の取付場所の移動、落下などによる故障及び損傷。
- ③ 火災、塩害、地震、風水害、雷、煤煙、降灰、酸性雨、食中毒などの有毒ガス、ほこり、異常気象、異常電圧、異常電磁波、ねずみ、鳥、くも、ゴキブリ、昆虫類等の侵入及びその他の天災、地変による故障及び損傷。
- ④ 水道管の錆などの異物の流入、給・配水管の詰まりにより生じた故障及び損傷。
- ⑤ 車両、船舶に備品として搭載された場合に生じた故障及び損傷。
- ⑥ 音、振動、塗装の退色、メッキの軽微な傷、錆などの設計仕様の使用内の感覚的な減少の場合。
- ⑦ 工事説明書または取扱説明書などに指示する方法以外の工事設計または取付工事等が原因で生じた不具合、故障及び損傷。
- ⑧ 店舗閉鎖後の製品の長期運転休止・保管及び所有者の変更の後に生じた故障及び損傷。
- ⑨ 保証番号のご提示がない場合。
- ⑩ 保証は日本国内でのみ有効です。
- ⑪ 製品をお買い上げいただいた場合の御購入金額を、保証修理費が上まわったり、著しく高額であるとレマコム株式会社が判断した場合は、御購入金額を返金する場合があります。その場合の御購入いただいた製品の廃棄もしくは移動についての費用はレマコム株式会社の保証外ですので、その費用についての責任は負えません。
- ⑫ 当社の認める代理店及び販売店以外からの御購入の場合は、その保証外とする。
- ⑬ 出張修理の場合は作業員が車両、船舶、航空機等の交通機関を使用し、または宿泊する必要がある場合にはその交通費、宿泊費および手当等はお客様のご負担となります。

6.お客様へ

無料修理やアフターサービスなどについてご不明な場合は、レマコム株式会社までお問い合わせください。
保証番号の再発行はいたしませんので、大切に保管してください。紛失してしまった場合は、銘板に書かれている製造番号が保証番号ですので、ご自身で再確認して、大切に保管してください。
製品の故障及び環境不良により生じた食品材料の損害、または製品の故障による修理待ち間製品が使用できなかった事により生じた営業利益保証及び慰謝料請求は保証の対象ではありません。

住所：静岡県三島市松本68-1

会社名：レマコム株式会社

TEL: 055-984-3600

FAX: 055-984-3601

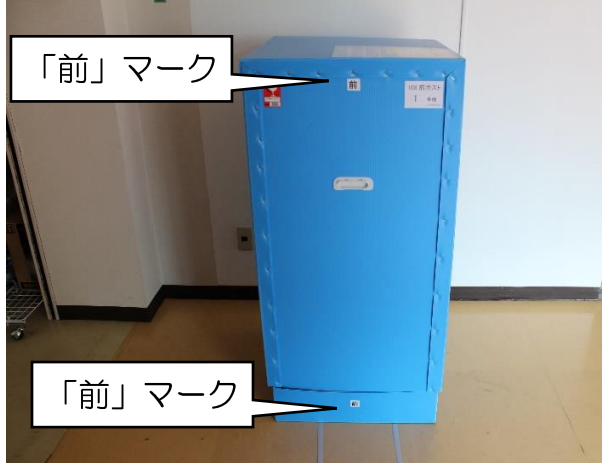
E-mail: info@remacom.com

URL: <http://www.remacom.com>



返却時の梱包手順

1		・コンセントを抜いてください。
2		・冷凍庫内を空にしてください。 ※水滴は軽く拭き取ってください。
3	 「前」マーク	・PPバンドを2本引き、その上に下箱を置いてください。 ・箱の前後を確認してください。
4	 商品の扉側 「前」マーク	・商品の扉側と「前」マークが同じ方向にくるように商品を下箱に置いてください。

5		・コードを束ねて隙間に入れてください。
6		・取扱説明書を本体の上に置いてください。
7		・上箱を本体被せてください。 この際、上箱の「前」マークと下箱の「前」マークが同じ方向に来るようにしてください。
8		・上箱が下箱にすっぽりと被るように入れてください。

9



・PPバンドでとめてください。

※PPバンドのとめ方は取扱説明書の最終ページにある「梱包時 PP バンドの使用方法」をご確認ください。

10

▼返却用の伝票を指定の位置に貼り付けてください。
返却用伝票は弊社にてご用意させていただきます。
梱包の箱に貼り付けてあります。

お届け時の伝票の下にある赤い伝票が
返却用の伝票です。



梱包時 PP バンドの使用方法

①



輪をつくる。

②



つくった輪をストッパーに通す。

③



1本の足を輪の中に折りたたむ。

④



バンドを矢印の方向に引っ張る。

⑤



荷物に回したもう片方のバンドも同様に通す。

⑥



ひもを両端に引っ張り、
しっかり締める。

※手順を参考にしても分からない場合は、緊急連絡先(080-5643-7181)にご連絡ください。